

第460回 日本皮膚科学会大阪地方会プログラム

—和歌山県立医大 古川福実教授退職記念地方会—

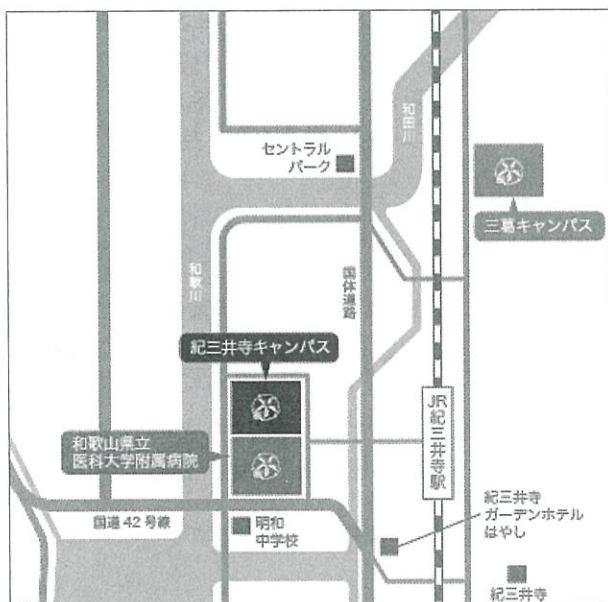
<http://derma.med.osaka-u.ac.jp/hifu/>

【第1日目】

日 時：平成29年3月11日（土） 午後1時より

場 所：和歌山県立医科大学 講堂（病院内に有料駐車場有り）

11:00~12:30 同会場にて皮膚科指導医講習会（DVD 上映による講習会）を行います。



〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地 1

TEL：073-447-2300

交通

●電車のご利用

JR きのくに線 紀三井寺駅下車，徒歩約7分

●バスのご利用

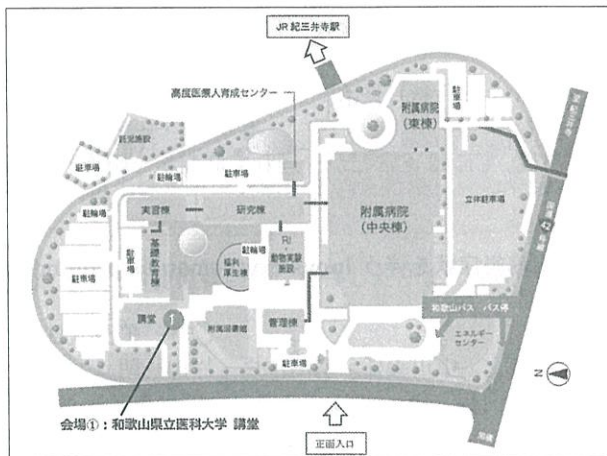
JR 和歌山駅または南海和歌山市駅から和歌山バス「医大病院」又は「医大病院前」下車
「医大病院前」バス停は国道42号線沿いにあります。

JR 和歌山駅から乗車の場合

- 医大病院行き「医大病院」下車すぐ
- 和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜行き「医大病院前」下車 徒歩3分

南海和歌山市駅から乗車の場合

- 医大病院行き「医大病院」下車すぐ
- 和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜方面行き「医大病院前」下車徒歩3分



【第2日目】

日時：平成29年3月12日（日） 午前8時30分より

場所：ホテルグランヴィア和歌山 6階ル・グラン

（6階ブライダルサロンで無料駐車券発行あり。駐車券をご持参下さい）

〒640-8342 和歌山県和歌山市友田町5丁目18番地 TEL：073-425-3333



交通

お車でお越しのお客様

和歌山 IC から和歌山市街方向へ約20分

関西空港からお越しのお客様

和歌山駅直行リムジンバスで約40分

JRでお越しのお客様

JR 和歌山駅中央口出て右側へ徒歩2分

京都から特急くろしおで90分

新大阪から特急くろしおで60分

大阪から紀州路快速で80分

天王寺から特急くろしおで45分

主催：和歌山県立医科大学皮膚科

各演者、座長の先生ともに、時間厳守でお願いいたします。

発表時間は、一般演題5分、スライド供覧3分、討論はいずれも2分とします。

第1日目

13:00～

1. (一般) 抗 TIF1 β 抗体単独陽性の皮膚筋炎の1例

○辻岡 馨, 北山尚美, 谷 冨香 (日赤和歌山医療センター)

石川奈々 (同・神経内科)

秋月修治, 三森経世 (京大・臨床免疫)

有本けい子 (和歌山市)

74歳女性。顔面、手などに痒疹のある発疹が出現。CK は正常だが、遅れて筋症状を随伴。肺病変、悪性腫瘍の合併は認められず。

2. (一般) ヒドロキシクロロキンの併用が奏効した筋炎症状を伴う lupus erythematosus profundus の1例

○林 美沙 (日生)

太田朝子, 山岡俊文, 中川幸延, 室田浩之, 片山一朗 (大阪大)

46歳女性。LE profundus の経過中に四肢に筋炎を発症。PSL にヒドロキシクロロキンを追加することで、筋炎とともに LE profundus も軽快した。

3. (一般) ヒドロキシクロロキンの内服中に薬疹を思わせる皮疹が出現した SLE の1例

○松田智子, 植田郁子, 山崎文和, 神戸直智, 岡本祐之 (関西医大)

36歳女。顔面の皮疹には効果を実感できていたため、内服継続のまま経過観察したところ、新たに出現した体幹の紅斑は消退した。

4. (一般) 経過中に椎間板炎を併発した DIHS の 1 例

○小杉 笑, 坂本幸子, 外村香子, 岸田寛子, 片岡葉子 (府立呼吸器・アレルギー医療センター)
54歳男性。カルバマゼピン内服中に薬剤性過敏症症候群 (以下 DIHS) 発症。初診で白血球
31,700/ μ l。ステロイド全身投与で DIHS 諸症状は落ち着いたが、腰痛出現。

5. (一般) バラのトゲ刺創後に横紋筋融解症を伴う敗血症を来した 1 例

○鴛尾 健, 藤井翔太郎, 正木太郎 (西神戸医療センター)
山本 剛 (同・臨床検査部)

バラのトゲ刺創後に全身の筋肉痛と高熱を主訴に当科に入院となった 1 例の報告を行う。血液培養では *Enterobacter Cowanii* が陽性。

6. (一般) エトレチナート内服が奏効した多発性尋常性疣贅の 2 症例

○伊勢友加里, 根木 治, 竹内かおり, 奥村和子, 木村有太子, 高森建二, 須賀 康
(順天堂大学医学部附属浦安)

38歳男。3年前発症の上肢の多発性疣贅。48歳男。半年以上前、発症の手足の多発性疣贅。いずれもエトレチナート内服が奏効。

7. (一般) ウッド灯検査陽性であった、*Microsporum canis* による小児頭部白癬の 1 例

○田邊 洋, 小川万里依, 三宅俊哉, 藤井弘子 (天理よろづ相談所)

5歳女児。頭頂部の脱毛があり数件の皮膚科を受診した。当科にて真菌培養にて *M. canis* を検出し、塩酸テルビナフィン 125 mg 内服を 3ヶ月行い改善した。患部頭髪は病勢に推移してウッド灯検査にて蛍光を示した。

8. (一般) 単発性陰部平滑筋腫の 1 例

○和田吉弘, 中川 登, 永井 諒, 伊藤孝明, 山西清文 (兵庫医大)

約 3 年前より陰囊左側に小結節が生じ、半年前から増大し疼痛を伴うようになった。

9. (一般) 踵部色素性ボーエン病の 1 例

○山中美佳, 小澤俊幸, 大迫順子, 楠谷 尚, 深井和吉, 鶴田大輔 (大阪市大)
大澤政彦 (同・病理診断科)
田中 勝 (東京女子医大東医療センター)

42歳男性の踵部に生じ、臨床像・ダーモスコピー所見より脂漏性角化症, BCC 等の鑑別に苦慮した色素性ボーエン病の 1 例を経験したので報告する。

10. (ス) 多発性骨髄腫に合併したびまん性扁平黄色腫の 1 例

○吉川義顕, 北口絃子 (大津赤十字)
奥野知子, 白瀬智之 (同・病理部)

55歳, 女性。多発性骨髄腫の疑いで精査中に、後頸部, 腋窩周囲, 鼠径部, 膝窩の黄色調の色素斑を主訴に当科を受診した。

11. (ス) Leopard 症候群の 1 例

○国定 充, 錦織千佳子 (神戸大)
森貞直哉 (同・小児科)

初診時 2 歳, 全身に増数する茶褐色斑を主訴に来院。

12. (一般) 爪甲色素線条に対する *intraoperative dermoscopy* と生検標本の *cross section* 像
 ○村田洋三, 増田泰之, 中村文香, 鷺見真由子, 小坂博志, 長野 徹
 (神戸市立医療センター中央市民) 熊野公子 (兵庫県特定医療担当参与)
 1) 爪甲色素線条の生検時に爪甲剥離状態での *dermoscopy* 観察を行う。2) 通常の *longitudinal section* ではなく, *cross section* を作成し, 検鏡する。一例での経験を提示する。
13. (一般) セツキシマブによるアナフィラキシーショックの10例と頭頸部癌患者198例における予知予防の取り組み
 ○千貫祐子, 伊藤和行, 森田栄伸 (島根大)
 頭頸部癌患者198例を対象に施行した糖鎖 α -Gal が原因のセツキシマブによるアナフィラキシーの予知予防の取り組みについて報告する。
14. (一般) *Acne inversa* を伴った *acne conglobata* の2例
 ○菊地克子, 滝田彰子, 佐藤遙太, 相場節也 (東北大)
 17歳男と20歳男。いずれも中学の頃からニキビがあり, その後, 頸部, 背部, 脇窩, 鼠径部に皮疹が出現した。抗菌薬, PSL 内服等行っているが難治。
15. (一般) 遠心性脂肪萎縮性脱毛症 (*centrifugal lipodystrophic alopecia*) の1例
 ○坪井良治, 原田和俊, 内山真樹, 白井浩平, 入澤亮吉 (東京医大)
 24歳, 女性。10年前から頭頂部に脱毛斑が出現, 中心治癒傾向を示しながら遠心性に拡大し, 環状の脱毛斑を形成した。

15:00~16:00 スイーツセミナー

座長・片山一朗 (大阪大学医学部皮膚科 教授)

「メラノーマに対する新規薬物療法の実際」

為政大綏 (大阪府立成人病センター腫瘍皮膚科 部長)

小野薬品工業(株)/ブリストル・マイヤーズ スタイブ(株)

特別講演 [自己と対峙する皮膚疾患と病態]

16:00~16:30 ①トランスレーショナルリサーチから見てきたメラノーマ新規治療戦略

座長・近藤稔和 (和歌山医大法医学教室 教授)

演者・大塚篤司 (京都大学皮膚科助教)

16:30~17:00 ②ケモカイン受容体 XCR1 を発現する樹状細胞サブセットの機能

座長・藤井隆夫 (和歌山医大リウマチ・膠原病科 教授)

演者・改正恒康 (和歌山医大 研究生体調節機構部 教授)

17:00~18:00 ③21世紀医学の課題

座長・古川福実 (和歌山医大皮膚科 教授)

演者・西川伸一 (NPO 法人 オール・アバウト・サイエンス・ジャパン代表)

19:00~21:00 懇親会 アバローム紀の国 参加費 3,000円

〒640-8262 和歌山県和歌山市湊通丁北 2-1-2

TEL: 073-436-1200/FAX: 073-436-8866

<https://www.avalorm.com/>

第 2 日目

8:30~9:30 モーニングセミナー

座長・松永佳世子（藤田保健衛生大学医学部アレルギー疾患対策医療学 教授）

「血管腫の病型とその治療」

大原國章（虎の門病院皮膚科）

榑ジェイメック

9:30~

16. （一般）汎発性帯状疱疹の 2 例

○下松達哉，丸山希実子，中村智之（和歌山労災）
阪口 臨（同・血液内科）

症例 1. 67歳，男性。既往歴は特になし。全身状態も良好であったが，汎発性帯状疱疹を発症。
症例 2. 66歳，女性。基礎疾患に悪性リンパ腫があり。化学療法施行後，汎発性帯状疱疹を発症。

17. （一般）フロモックスによる多発性固定薬疹の 1 例

○藤森なぎさ，小林佑佳，加賀野井朱里，小澤健太郎（大阪医療センター）
爲政大幾（大阪府立成人病センター）

80歳男性。感冒様症状に対してフロモックスを含む複数薬服用後に体幹，四肢に多発性紅斑を認めた。パッチテスト，DLST は陰性。内服チャレンジテストでフロモックスが陽性であった。

18. （ス）ハーボニー[®]内服開始 1 週後に生じた色素性痒疹

○音山あずさ，城内和史，笠 ゆりな，濱田裕子，宇野裕和，中田土起文（昭和大）

49歳女。1ヶ月前より慢性C型肝炎に対してハーボニー[®]を投与されていた。内服開始 1 週後に背部に瘙痒感を伴う皮疹が出現。

19. （一般）第 3 世代抗ヒスタミン薬の服用時の不快な夢

○松中成浩，石井崇子，木村通郎（関西医療大）
岡崎直樹（私立貝塚）
津呂知恵（新日鉄住金）

眠気が少なく多用されている 2 剤に誰かに追われているや，恐ろしい夢など稀なく経験する症例を，数年来問診で確認したので報告する。

20. （一般）ヒドロキシクロロキンが奏効した全身性エリテマトーデス

○芦田美輪，宇谷厚志（長崎大）
清水俊匡（同・リウマチ膠原病内科）

17歳，SLE 女性。2ヶ月前より関節痛の悪化，頭頂部に紅斑を伴う脱毛が出現。ヒドロキシクロロキンの追加投与により速やかに発毛が見られた。

21. （一般）ステロイド内服療法が関節拘縮に著効した，深在性モルフェアを疑った 1 例

○小見川知佳，端本宇志，花房崇明，野老翔雲，並木 剛，井川 健，横関博雄（東京医歯大）

61歳男。2年前から四肢大関節可動域制限と暗紫色の網目状の斑あり。深在性モルフェアを疑診。ステロイド内服療法が著効。

22. (ス) 遺伝性多毛症 Cantu 症候群の 1 例

○大湖健太郎, 中島英貴, 柴田夕夏, 中島喜美子, 佐野栄紀 (高知大)
遺伝子診断された Cantu 症候群 8 歳男児前額部から皮膚生検を行い, 頭部毛包同様の帽状腱膜直上に毛球をもつ成長期毛包を認めた。

23. (ス) アムルピシン投与患者に見られた毛髪再生

○清水 晶, 服部麻衣, 石川 治 (群馬大)
解良恭一 (同・がん治療臨床開発学講座)
アムルピシンはアントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤であり, 本邦で全合成された。本剤投与後に見られた毛髪再生例を供覧する。

24. (一般) Centrifugal lipodystrophy of the scalp に対するミノキシジルローションの効果

○乾 重樹 (大阪市)
北村浩之 (豊中市)

7 歳, 男児と 13 歳, 女子の 2 例に各々生後 6 ヶ月および 8 歳頃よりから耳介周囲の弧状脱毛斑が生じ, その後ゆっくりと同心円状に移動した。2%ミノキシジルローション外用を試したところ毛髪が回復した。

25. (一般) 腎移植後患者の右大腿に生じた皮膚限局型ノカルジア症

○菅野百加, 氷室佑季子, 松本優香, 小豆澤宏明, 浅田秀夫 (奈良医大)
飯岡弘至, 萬木 聡 (同・形成外科センター)
吉原真吾, 小川吉彦 (同・感染症センター)
鳥本一匡, 米田龍生 (同・泌尿器科)

症例は 74 歳男性。1 年 9 ヶ月前に腎移植施行。受診 6 日前に右大腿外側の紅斑, 腫脹, 熱感, 疼痛が出現。

26. (一般) 表皮内上皮腫に生じた紡錘形細胞型有棘細胞癌

○清原隆宏, 谷村裕嗣, 中丸 聖, 寺井沙也加, 松井奈央子, 榎村 馨
(関西医大総合医療センター)
小亀敏明, 岡本祐之 (関西医大)

79 歳女性。右胸部に淡褐色局面があり, 何度か脂漏性角化症の病理診断を受けていた。局面内に結節が生じたため, 再度来院した。

27. (一般) 放射線治療が発症要因と考えられた多発性基底細胞癌の 1 例

○横山恵里奈, 金田一真, 穀内康人, 谷崎英昭, 黒川晃夫, 森脇真一 (大阪医大)
41 歳女性。幼少時下垂体腫瘍に対し放射線治療歴あり。初診 10 ヶ月前に頭部に多数の結節を生じ, 精査の結果基底細胞癌であった。

28. (一般) DPP-4 阻害剤内服後に出現した天疱瘡の 2 例

○横見明典, 高田真由美, 神谷 香 (市立豊中)
過去 4 年間で経験した天疱瘡 5 例中, 2 例 (尋常性天疱瘡 1 例, 落葉状天疱瘡 1 例) で DPP-4 阻害剤を内服していた。

29. (ス) 肛門部梅毒の 1 例

○宮城拓也, 山口さやか, 山本雄一, 高橋健造 (琉球大)
AIDS で治療中の 50 代男性が肛門の疼痛と排便時の出血があり, 肛門性交に起因する裂肛, 肛門周囲膿瘍を疑われ皮膚科を紹介受診した。

30. (ス) B型肝炎ワクチン接種後に生じた Gianotti-Crosti 症候群

○戸倉新樹 (浜松医大)

3歳2ヶ月の女児。近親者であるために皮疹経過を診ることができ、Gianotti-Crosti 症候群と診断。発症の10日前に HB ワクチン接種していた。

31. (一般) Dendritic cells require p38a signaling for imprinting Th17-dependent autoimmune skin inflammation

○Li Hongjin^{1,2}, Zheng Tingting¹, Hu Ran¹, Han Miaomiao¹, Zhao Weiheng¹, Zhang Baohua¹, Liu Heng^{1,3}, Huang Jian^{1,3}, Xiao Shuxiu¹, Huang Gonghua¹

(¹Shanghai Institute of Immunology, Shanghai Jiao Tong University School of Medicine

²Department of Dermatology, Yueyang Hospital Affiliated to Shanghai University of Traditional Chinese Medicine

³Guangdong Medical University)

Dendritic cells (DCs) are known to contribute to psoriasis pathogenesis, but the nature of signaling networks that regulate DC function in psoriasis is poorly understood. Here we show that p38a activity in Langerhans cells (LCs) promotes IL-17-producing T cell differentiation and IL-17-mediated psoriasiform skin inflammation. Deletion of p38a in LCs, but not in other DCs or T cells, protected mice from the imiquimod-induced model of skin inflammation. p38a activity in LCs orchestrated the expression of IL-23, IL-6 and IL1b to promote IL-17-producing T cell differentiation. We also found the p38a regulated LCs migration upon antigen stimulation.

11:30~12:30 ランチョンセミナー

座長・宮地良樹 (滋賀県立成人病センター 院長)

「変貌する自己—左右 (とにかく) なんとか過ごしてはきた」

古川福実 (和歌山県立医科大学皮膚科 教授)

マルホ(株)

12:30~

32. (一般) 低フルエンス Q スイッチ Nd:YAG レーザーによる組織学的に pigment incontinentia を伴う疾患の治療

○船坂陽子, 佐伯秀久 (日本医大)

組織学的に pigment incontinentia を伴う疾患に対し, 低フルエンス Q スイッチ Nd:YAG レーザーの繰り返し照射にて, 良好な結果が得られたので報告する。

33. (一般) 富田林病院で行っている皮膚がん検診

○中川浩一, 岡林 綾, 清水奈美, 東田理恵, 亀田理央 (富田林)

2005年11月から毎月1回, 地域住民対象の皮膚がん検診を行い, 現在までに1,384名を検診した。皮膚がんの診断は34名であった。和歌山県, 大分県の皮膚がん検診と比較・検討したい。

34. (一般) 足底 desmoplastic melanoma の1例

○飯野志郎, 加藤卓浩, 笠松宏至, 高嶋 涉, 尾山徳孝, 徳力 篤, 長谷川 稔 (福井大)

53歳, 男性。左足底の胼胝様の腫瘍。病理組織学的に desmoplastic melanoma と診断した。拡大切除とセンチネルリンパ節生検術を施行した。

35. (ス) パゾパニブ投与を行った頭部血管肉腫の1例
○細本宜志, 吉岡 希, 椋樺圭子, 山本容子, 村本睦子, 磯貝理恵子, 山田秀和 (近畿大奈良)
68歳, 男性。頭部血管肉腫に対して weekly Paclitaxel を行い経過良好であったが, しびれが強
くパゾパニブに変更。
36. (一般) Folliculotropic mycosis fungoides の1例
○鈴木 緑, 立林めぐ美, 加藤麻衣子, 大磯直毅, 川田 暁 (近畿大)
82歳, 男性。毛包性ムチン沈着症と診断後, 皮疹の拡大あり再度の生検で, folliculotropic
mycosis fungoides と診断。外用 PUVA で改善。
37. (一般) 前胸部に発生した疣贅状異常角化症: Warty Dyskeratoma の1例
○井坂有里, 五十嵐由美, 伊澤有香, 松田秀則, 百瀬葉子, 荻田あづさ, 安齋眞一
(日医大・武蔵小杉)
佐伯秀久 (日医大)
田中 勝 (東女医大・東医療)
50歳男。3年前から前胸部に7mm大の紫紅色調の隆起性結節が出現。病理診断は Warty
dyskeratoma。ダーモスコピー所見を示す。
38. (一般) 低補体血症性蕁麻疹様血管炎を主たる皮膚症状とした SLE と劇症型抗リン脂質抗体
症候群 (APS) の合併例
○酒井里菜, 葉山愛弥, 石黒直子, 川島 眞 (東女医大)
廣瀬 光, 仁科浩和 (同・膠原病内科)
49歳女。初診の2週間前より発熱, 2日前より浮腫性紅斑が出現。生検像で leukocytoclastic
vasculitis。精査で SLE と診断。劇症型 APS を併発し死亡。
39. (一般) 皮膚病変に一致して無菌性骨髓炎を伴った限局性強皮症の1例
○市村洋平, 浅野善英, 遠山 聡, 江畑 慧, 谷口隆志, 赤股 要, 佐藤伸一 (東大)
38歳女。左顔面にステロイド抵抗性の限局性強皮症あり。難治性皮膚病変と一致した左下顎部に
歯肉萎縮を伴う無菌性骨髓炎を併発。
40. (一般) 全身性強皮症早期診断における EULAR/ACR 新分類基準の有用性について
○竹原和彦, 伊川友香, 濱口儒人 (金沢大)
2013年に EULAR/ACR に提唱された全身性強皮症・新分類基準を用い, 早期例診断における有
用性について, 従来の診断基準非合致例104例および原発性レイノー病16例に対して検討した結果
を報告する。
41. (一般) 口腔用ステロイド含有軟膏による副腎皮質機能不全の1例
○立花隆夫, 要石就斗, 藤田真文, 一ノ名晶美, 高瀬早和子, 西村陽一, 太田深雪, 八木洋輔
(大阪赤十字)
74歳, 女性。デキササルチン口腔内軟膏の外用により副腎皮質機能低下症を生じる。
42. (一般) 過去9年間に当科で経験した薬剤性過敏症候群 (DIHS) の臨床的検討
○大谷稔男, 加藤陽一, 難波裕子, 井形華絵 (倉敷中央)
2008年1月から2016年12月までに当科で経験した症例を集計して報告する。
43. (ス) ジェルネイル施行後に手指疼痛を来した1例
○荒井利恵, 影本善子, 安藤佳洋 (済生会中津)
手指の痛みが出現し翌日近医受診。抗菌剤加療でも改善せず4日後に当院初診。

44. (一般) エステティック施術による健康被害軽減への取り組み (利用者背景を探る)

○関東裕美, 鷺崎久美子 (東邦大・大森)

古川福実, 山本有紀 (和歌山県立医大)

我々はエステティック施術による健康被害軽減目的で調査指導を継続し, 利用者背景を施術者に認識させる啓発が必要と考えている。

45. (一般) Trichorhinophalangeal Syndrome (TRPS) の3例

○中村元信, 日高太陽, 齋藤龍一, 北村真悠, 小田友子, 井上明葉, 櫻木友美子, 真島瑛美,
濱田 薫, 佐々木奈津子, 山口 卓, 大森 俊, 春山護人, 吉岡 学, 澤田雄宇, 岡田悦子
(産業医大)

1例目は7歳女兒, 2例目は8歳女兒, 3例目は6歳女兒で, 幼少時からの疎毛を主訴に紹介受診し, TRPS と診断した。

46. (ス) 尋常性天疱瘡で発症し完全寛解の後に落葉状天疱瘡への病型変化を伴って再発した1例

○田中俊宏, 加藤 威, 高山 悟, 藤本徳毅 (滋賀医大)

中西 元 (守山市)

藤井紀和 (大津市)

70代, 男性。口腔内の難治性びらんで発症。初診時 Dsg1/3 は111・144再発するまでステロイド内服無しで無症状であったが, 落葉状天疱瘡として再発した。

47. (一般) 好酸球性膿疱性毛包炎の診断と治療に関する考察

○柘嶋健治 (京都大)

当科の症例経験や過去に報告された好酸球性膿疱性毛包炎の症例を検討し, 診断と治療について考察した。

48. (一般) 膠原病の寒冷過敏に関する新しい考え方

○片山一朗, 楊 伶俐, 山岡俊文, 林 美沙, 荒瀬規子, 室田浩之 (大阪大)

仲 哲司 (大阪大・医薬基盤研)

シェーグレン症候群などの膠原病疾患ではアクロチアノーシスや凍瘡, クリオグロブリン血症などレイノー現象以外の寒冷過敏症状が見られるが, その病態は不明である。我々のデータを中心に最近の知見からの考察を述べる。